埼玉保険医新聞

発行所
埼玉県保険医協会
〒330-0074
さいたま市浦和区北浦和
4-2-2 アンリツビル5F
電話　048(824)7130
FAX　048(824)7547
発行人　山崎利彦
購読料　1部150円
会員の購読料は会費に含まれています。

第49回定期総会　過去最多2124人で方針採択

悪政とめる活動へ全力

資格確認システム義務化の撤回など医療界を守る施策を

六月十九日、協会は浦和ワシントンホテルにおいて、第四九回定期総会を開催した。

総会は二八人の本人出席と二一〇一人の委任状出席、合わせて二一二九人と過去最多の出席数により成立した。本総会には理事会から四議案を提案した。

第一～四号議案「二一度年活動総括」「二二年度活動方針」「二一年度決算」「二二年度予算」が一括採決にて、賛成二一二四人、保留三人、反対〇人で決議された。医療界が政府からこれまでにないほど軽視される情勢下にあるが、多数の会員とともに活動方針の実践を通してより良い医療制度や公正な社会の実現を目指して活動していくことを確認した。

COVID―19の拡大を受け、総会は短時間での開催となったが、多数の会員の協力により執り行うことができた。（関連三面）

総会御礼

理事長　山崎　利彦

第四九回定期総会が六月十九日に開催され、理事会からの提案議案を全て滞りなく決定いただきました。

感染拡大防止のために委任状出席にご協力をいただいた多くの会員の皆様方にはこの場を借りて御礼申し上げますとともに、当日、足を運んでいただいた皆様にも改めて御礼を申し上げます。

本総会は過去最多二一二九人の会員に出席、委任状出席をいただきました。協会が多数の会員の良識によって支えられていることを実感するところです。

政府の「骨太方針」は医療や社会保障分野の多くで削減・縮小の方向が示される一方で、防衛予算を今後、五年程度をかけながら、現在の二倍、五兆円も増額することが示されました。高齢化社会にあって医療予算を増やさないどころか一層の削減が迫られます。

日本がさらに悪政に向かっていくのか、グッと踏みとどまることができるのかが問われている二〇二二年です。会員や市民の声を引き続きのご協力、ご支援を呼び掛けたいと述べた。

総会冒頭の開会挨拶で、山崎利彦理事長は「六月現在の会員は四三〇〇人となり、厳しい状況下でも会員数は増え続けている」「昨年からの感染爆発と国の愚策に翻弄され続け、診療報酬もマイナス改定が強行された。これほどまでに、医療界が政府から軽視されていることはなかった」「埼玉県保険医協会が、この厳しい状況でも、情勢に対峙した活動へ全力を傾けていくためにも、皆様方に引き続きのご協力、ご支援を呼び掛けたい」と述べた。

成立確認と議長選任

渡部副理事長

続いて司会の渡部義弘副理事長が、開始一〇分前の時点で本人出席が二二人、委任状出席が二一〇一人と紹介。四月時点の会員数四二八八人の二〇%である八五八人を超える出席者があることを報告し、総会が成立していることを確認した。

生田議長

議長選出では、フロアから立候補や推薦がなく、理事会より推薦提案した生田利夫会員の議長選出が拍手で承認された。生田議長は、大場文江会員を書記に指名。議案の提案に入っていった。

議案の提案

大場書記

一号議案「二〇二一年度活動総括案」と二号議案「二〇二二年度活動方針案」は、山崎理事長がまとめて提案した。

三号議案「二〇二一年度の会計決算報告案」と四号議案「二〇二二年度会計予算案」は松本光正副理事長がまとめて提案した。

松本副理事長

続けて里村淳監事が監査報告を行った。

里村監事

討論と採決

会員から事前に寄せられた意見や質問には、「マイナンバーカードによるオンライン資格確認の義務化に反対する」意見や、「最近の政府は強制、強要が多く自由にモノが言えない社会になっている」という意見をはじめ、「資格確認の義務化の対応」「役員選出時の年齢」に関する質問や「笹井歯科指導医療官の問題点」「新点数説明会の開催」に関する意見などか寄せられており、これらについて、山崎理事長、小橋一成副理事長が質問内容を紹介のうえ回答した。

小橋副理事長

その後、一人の出席者から「特別会計」や「積立金」に関する質問がされた。

採決は一号から四号をまとめて採決した。

議場の出席者数は本人出席二六人（議長、書記除く）、委任状出席二一〇一人と報告された。一号から四号議案は、反対〇人、保留三人、賛成二一二四人で、賛成多数により可決した。

橋本副理事長

最後に橋本英二郎副理事長より「社会全体に強い閉塞感が漂うが協会は会員数も増え続け、総会出席者も過去最多数となった。協会に多くの信頼と期待が寄せられていることを確信する」「今年度の活動方針を多数の会員とともに進め、より良い医療制度や、厚生な社会を実現させていきたい」と閉会挨拶が行われた。

■　執行部提案議事の採決結果

○1号議案　2021年度活動総括案
○2号議案　2022年度活動方針案
○3号議案　2021年度決算報告案
○4号議案　2022年度決算報告案

以上、四議案は挙手採決にて
賛成　2124人
保留　3人
反対　0人
賛成多数で承認決定。

2022年度
高点数個別指導実施せず

協会が厚生局に毎年開示請求している個別指導に関する資料が、六月十三日に開示された。

開示された資料は、厚生局と埼玉県が二月に開催した今年度の個別指導の運営や対象医療機関を選定する「選定委員会」の資料である。

選定委員会が示した二〇二二年度の個別指導選定基準では、高点数個別指導は実施しないことが確定した。新規個別指導、情報提供による個別指導、昨年以前の指導結果が「再指導」となった個別指導を行うとした。

また、昨年度の指導結果について、医科歯科ともに情報提供や再指導による個別指導の結果「再指導」となった医療機関が増えているのが特徴である。

今号では、開示された資料のうち、今年度の個別指導の選定で使用された平均点数と選定件数、昨年度の指導結果、今年度の実施スケジュールを掲載する。（五面に続く）

主な記事
4面…医科・歯科新点数Q&A
5面…個別指導開示資料
6面…骨太の方針 医療は抑制
7面…オンライン資格確認等システム義務化
8面…汚染水海洋放出はやめて

個別指導に弁護士が帯同できます